

第1回 森いく活動

5月26日（火）、「森の家」屋内の清掃、「森の家」周辺の落ち枝除去、しらかば十字園の見回り等を行い、この日は午前で終了しました。

森の家広場にあった大きなヤナギが強風で倒れました。

行事の時にはそのヤナギの日陰で昼食を取れる良い場所でした。

ヤナギの撤去は常呂川森林ふれあい推進センターの方々が行なっていましたが、大変な作業だったと思います。お疲れ様でした。

【参加者 近藤、小島、渋谷、小林、植村、大戸、金山、井家、木村文、藤原、小山】



第2回 森いく活動

6月16日（火）、古の森展望台周辺、しらかば十字園の落枝整理、草刈り等、午後から平安遊歩道の樹名板設置を行いました。

展望台、しらかば十字園周辺の草はあまり伸びてなかったのですが、綺麗に整備を終了できました。

【参加者 近藤、小島、渋谷、小林、植村、土門、小畑、井家、桐山、若沢、木村文、小山】



オホーツクの森林づくり

大きくなることを願って！

6月14日（日）、常呂川ふれあい推進センター職員含めて10名の参加によりオホーツクの森林づくりが行われました。

「森の家」で日程、作業手順などの説明を受けた後、作業開始。

森の家広場内のミズナラ苗木をスコップで掘り取り、植え付け場所まで移動。

笹の根のある固い土を掘起こす作業に心地よい汗が！



スコップで笹の根を切り、ミズナラ苗木を植え付け、最後は根が浮かないようにしっかりと土を踏み固め、2グループでそれぞれ2本ずつ、4本の苗木を植えました。

植え付け後は設定された場所で、笹のみを鎌で除去、芽生えているものに印の棒を刺しておき、どんな花木になるのかがお楽しみとなりました。



【参加者 近藤、渋谷、植村、土門、秋田、井家、金山、小山】

夏の森林散策会

つつじヶ原自然探勝路&アカエゾマツの森

6月13日（土）、弟子屈町川湯「つつじヶ原自然探勝路&アカエゾマツの森」で夏の森林散策会を28名の参加で行ないました。

当日、熊の目撃情報があり、散策ルートの一部変更しての実施となりました。



夏の森林散策会 感想①

森林散策は最高の学び場

つつじヶ原では「イソツツジ」の花が咲き誇る白一面の世界にどっぷりとつかった。群落は圧巻で、満開に咲く丸い花は数十の花の集合体だ。それだけに子孫を残す営みが厳しいのだろう。厳しい生育環境にあるが、「ガンコウラン」や地衣類「ハナゴケ」も見られたが「ハナゴケ」の赤い花は見られなく心残りだった。



「アカエゾマツの森」に入ると清涼な冷気に爽快さを感じた。

真っ直ぐに背伸びする「アカエゾマツ」の姿は見て飽きることはない。森林浴をしながらの散策の中、可憐で白い花が散策路両脇に埋め尽くすように、天に向かって咲く「ゴゼンタチバナ」の群生があった。

秋には赤い果実をつけ、古来より日本人に愛され親しまれ、和歌や文学に愛されてきた。

針葉樹から広葉樹に林相が変わり、山菜の女王として親しまれる人気の食材「コシアブラ」を学んだ。放射性物質が検出されやすく、販売自粛されているという。それにしても一度食したいものだ。

シダ植物の「ヤマドリゼンマイ」の群生は見事で、ここでしか見ることの出来ないものであり、白く隅取りされた「ミヤコザサ」の群生ではクマザサの違いも学んだ。

エゾハルゼミ合唱がこだまする初夏の自然散策は、脈々と続く自然の営みを知る最高の学び場であった。
＜S・Y＞

夏の森林散策会 感想②

森の魅力を再確認

現地到着時、熊の親子が探勝路を横切ったために中止かと心配しましたが、一部コースを変更しての実施でほっとしました。



満開のエゾイソツツジが硫黄山を背景に、広大な火山灰地に咲き誇り、その美しさに感動しました。

アカエゾマツの森では、倒木再生やクマゲラの採食穴を見学し、森の生命力を実感しました。

特に印象的だったのは、アカエゾマツ林の下に広がるゴゼンタチバナの大群生で、念願叶い感謝の気持ちでいっぱいになりました。

初参加でしたが、森の魅力を再認識できました。

ありがとうございました。

新規加入＜仲野加代子＞



自然に学び隊

火山活動が生む不思議

好天に恵まれた6月1日（月）、夏の森林散策会の下見を兼ね、つつじヶ原自然探勝路・アカエゾマツの森（弟子屈町川湯）で10名の参加で行いました。

スタート地点のアトサヌプリ（硫黄山）付近ではイソツツジ、ハイマツなどの（亜）高山植物が広がり、川湯に近づくと他の植物（アカエゾマツ、シラカバ、ミズナラ、ヤマドリゼンマイ、ミヤコザサなど）に変化します。



これはアトサヌプリ（硫黄山）の火山活動（硫化水素）の影響によるものと思われます。

また、アカエゾマツの森では、ゴゼンタチバナの群落、徐々に移り変わる植生（植物の種類・数・大きさ等）から、土壌と植物の関係の不思議さを感じることができました。

散策ルート、所要時間などを確認し、「イソツツジ満開はもう少し先、13日（散策会）が楽しみ！」で下見を終えました。

＜近藤＞

なお、参加者は次の通り。

【小島、渋谷、植村、小林、小畑、藤原、井家、桐山、山本規、近藤】

なるほどクイズ

（答えは会報のどこかに…）



登山などで山に登る、森林に入る際の注意事項、正しいのは？

- ① もう少しで頂上、下りは楽なので多少無理しても大丈夫
- ② 荷物は少ない方が楽なので低い山はできるだけ軽装にした方が良い
- ③ 道に迷った時には、必ず道路や民家があり体力の消耗も少なく済む低い方へ進む方が良い

緑の募金 街頭活動に参加しました

4月20日（月）、北見市花と緑の市民の会主催による「緑の募金街頭キャンペーン」が行われ、昨年と同じく寒い日でした。

ふれあい推進センター2名、オホーツクの会から5名（土門、大戸、秋田、植村、小山）、が参加しました。



コープさっぽろ植樹祭に参加して

6月20日（土）、美幌町日並地区の広大な山の中で18年間続いているコープさっぽろ（北見地区）植樹祭に初めて参加しました。

約40名の参加者で400本のカラマツの苗木の植樹作業に、スコップが入りづらい土壌もありましたが、根強く大きく育って欲しいと願いを込めました。



午後からは美幌博物館で、見学とモザイクタイルコースター作りを体験、楽しく有意義な一日を終えました。 <大戸>

【参加者 小島、渋谷、大戸、秋田、土門】



『ネットワークの意義 再確認を！』

<オホーツクみどりネットワーク総会・全体会議>

6月4日（木）、北見市木のプラザで第20回オホーツクみどりネットワーク総会・全体会議が2年ぶりに行われ、会から3名（小林・大戸・近藤）が参加しました。

鞘師会長から「結成20周年を迎えるに当たって、ネットワークの意義を再確認したい。加盟団体の交流を深めるとともに互いの強みを生かせる活動に発展させましょう」という挨拶の後、活動報告・活動方針について満場一致で確認されました。

その後、円館工芸社（美幌町）の円館綾子氏の講演〔テーマ「地域工芸を支える職人」〕を受け、エンジュの時計作りを行いました。 <近藤>



天候等によっては、中止・内容変更になる場合があります。

申込みは、できるだけメールでお願いします。

メール sinrinvo2025@gmail.com

<イベント名、氏名(カナ)、住所、
郵便番号、生年月日、連絡先> (様式は任意)

○こども探検隊 (共催: FC) <安全確保補助スタッフ大募集 15名>

日 時 2026年8月1日(土) 9:00~15:00
場 所 オホーツクの森
内 容 子どもたちと自然の中で楽しみましょう。
持ち物 森林散策できる服装、昼食、飲み物等
申込み お手伝いいただける方は7月15日(水)まで
(お手伝いの内容は一任願います)

★子どもたちの参加募集(先着20名)は別途行っていますが、お心当たりの子どもさん(小学生)がいる場合はお声がけ願います

○【森のパネル展】(共催: 常呂川ふれあい推進センター)

～森の大切さと魅力を伝えます～

日 時 2026年8月28日(金)～9月6日(日)
午前9:30～午後4:00(最終日は午後3時まで)
場 所 緑のセンター(北見市緑ヶ丘4丁目40-3)
内 容 北海道森林管理局常呂川森林ふれあい推進センター、
森林ボランティア「オホーツクの会」による森林のパネル展です。

<工作無料体験> ※申し込み不要(随時)

8月29日(土) クラフト作成ナイター 18:30~19:30
(夜の温室 open day 同時開催)

9月 5日(土) クラフト作成 9:30~15:00
6日(日) クラフト作成 9:30~14:00

<緑ヶ丘公園ガイド付き植物観察会> (一時間程度) ※申し込み不要

9月5日(土)、6日(日) ①午前10:30～ ②午後1:30～

入 館 料 無料

お友だちを誘ってお立ち寄りください。

8月27日(木) 展示作業 13:30

28日(金)～パネル等展示

参加・協力できる方は8月20日(木)まで

○第4回森いく活動

日 時 2026年9月15日（火）9：30～
場 所 森の家集合
内 容 ふれあいセンターとの打ち合わせ
持ち物 作業できる服装、昼食、飲み物、マスク等
申込み 9月2日（火）まで

○山の日記念「藻琴山森林散策会」

実施日 2026年8月22日（土）
（詳細は別紙をご覧ください）
申込先 常呂川森林ふれあい推進センター
h_tokoro_f@maff.go.jp

作品募集します！

私が見つけた自然

第3回 4コマで感じる「写真展」

期 間 2026年12月2日（水）～7日（月）
場 所 NHK ぎやらりー 北見市北斗町2丁目3-24

自然、生き物を題材にした「私の好きな自然【2L版4枚1組】」を一般市民の方から広く募集します



募集期間 10月10日（土）～11月10日（火）

詳細は9月発行予定の「オホーツクだより」に掲載します

【なるほどクイズ】 答え



- ① もう少しで頂上、下りは楽なので多少無理しても大丈夫

答え 「×」

中止・下山するのも勇気です。体調不良・体力に不安、天候悪化などは大きな事故につながりかねません。

- ② 荷物は少ない方が楽なので低い山はできるだけ軽装にした方が良い

答え 「×」

山を甘く見てはダメ！気温は高さ 100mで 06℃、風力 1mで体感温度マイナス 1 度といわれ、雨・汗で濡れているとさらに低下する。夏山・低山でも最低限の準備を！

- ③ 道に迷った時には、必ず道路や民家があり体力の消耗も少なく済む低い方へ進む方が良い。

答え 「×」

沢（川）を下りると急傾斜地や滝で進めなくなることが多く、迂回するための体力消耗や危険が生じるので、迷ったと思ったら来た道を引き返すこと、また、尾根は携帯電話の通じる箇所もある。

会員の皆様にお願い！

事務局業務の見直しとして、会報の印刷部数の減少、封筒印刷、製本・封入、郵送料など、担当者の労力削減、経費縮減につなげることを目的に会報のメール送信をお願いしています。

会報のメール送信可能な方は、「会報メール希望」とお名前を記入して事務局までメールをお願いします。

★行事などへの参加の申込先について、お間違えの無いようお願いいたします。

解らない時には「事務局」へメールでお問い合わせください。

木々に関するつぶやき

【アカエゾマツ】（赤蝦夷松）

太さ 1～1.5m、高さ 30～40mになる常緑針葉樹で北海道・南千島等に分布しており、エゾマツ（クロエゾマツ）の樹皮が黒褐色に対して赤褐色であることからアカエゾマツ。



エゾマツの葉が扁平で長さ 1～2cm に対して、断面が四角形で長さ 0.5～1.2 cm と短いのも見分けるポイントの一つ。

蛇紋岩地や火山灰地・湿地帯など栄養不良の場所でも育つことができることから、オンネトーや川湯などで一斉林を作っている。

苗木の生産が容易で、病気に強く、耐寒性にも優れていることから人工林も多い。

建築用材、ピアノやバイオリン等の楽器材などで利用される。

会費納入のお願い

当会は皆様からの会費を基に活動を進めており、滞納者が増えると運営に支障を来すことが避けられません。

年会費を滞納し続けた場合は、継続の意思がなく退会と判断せざるを得ません。（退会される方は事務局へ一報願います）



— 納入方法 —

- ・会が主催・参加するイベント時に納入（会報等でご確認ください）
- ・会の口座（ゆうちょ銀行）に振り込む（手数料がかかります）

ゆうちょ銀行（郵便局）から振り込む場合

【記号 19960 番号 08073231】

他の金融機関から振り込む場合

【店名 九九八 店番 998 普通預金 口座番号 0807323】

森林ボランティア「オホーツクの会」

お問い合わせ



森林ボランティア「オホーツクの会」事務局

〒090-0804 北見市桜町2丁目76
小山穂積

メール mori20250405@outlook.jp

令和 8 年 7 月 2 日

山の日記念

「藻琴山森林散策会」参加者募集！

「山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝する。」ことを趣旨に平成 28 年に祝日「山の日」が制定されました。

このことを記念し、北海道、北海道森林管理局の主催で藻琴山森林散策会（登山）を実施いたします。

- 1 主 催 オホーツク総合振興局
北海道森林管理局 網走南部森林管理署
北海道森林管理局 常呂川森林ふれあい推進センター
- 2 実施日 **令和8年8月22日(土)(荒天時中止)**
- 3 集合場所・時間【貸し切りバスが出ます】
8：30 北見駅南口プロムナード出発
9：30 東藻琴「道の駅」
15：30 北見駅南口プロムナード着（予定）
- 4 内 容 藻琴山登山及び登山道沿いの植物等の観察など
ルート 東藻琴側登山口～銀嶺荘～頂上～ハイランド小清水 7 2 5
- 5 対 象 藻琴山登山が可能な者 **先着30名**
- 6 受付期間 7 月 1 5 日（水）から 8 月 4 日（火）まで
- 7 申込方法 氏名、年齢、住所、連絡先を明記し、メールまたはハガキで申し込んで下さい。
- 8 参加料 200 円（傷害保険料等として）…当日、バス乗車時に受領します。
- 9 その他 天気予報で荒天が予想される場合、中止となることがありますのでご了承ください。

問い合わせ・申込み先

090-0035 北見市北斗町 3 丁目 11-3

北海道森林管理局

常呂川森林ふれあい推進センター

TEL 0157-23-2960（平日の 8:30～16:30 まで）

mail：h_tokoro_f@maff.go.jp

担当：菊地・根津